

令和7年度 公民館事業評価

☆中央公民館 公民館運営審議委員意見

事例発表：「桜の落ち葉から2色に染めるエコバッグ講座」

ジャンル：成人教育

委員①		
総合評価	A	

委員②		・参加者からの好評である様子が伝わる。 ・可能な範囲で参加人数を増やしてはどうか。
総合評価	A	

委員③		開催時期や季節感とのかかわりから、佐倉の春を体感できる講座であろうと捉える。受講者に人気の講座のため、受け入れの人数を増やす工夫が必要かと思われる。（講師の人数を増やす、日にちを増やす等） 費用対効果の観点から、事前の準備等に係るコストを確認した方がよい（職員は何人、何時間使ったのか）
総合評価	B	

委員④		参加希望者も多く、実際に参加した人の満足度も高い。参加した年代や作業内容から心の豊かさを実感できる講座だと思います。
総合評価	A	

委員⑤		
総合評価	A	

委員⑥		総合評価	A	<p>事前に公民館担当者が桜の葉を集め、乾燥している作業により、受講者がスムーズに体験できたと伺いました。事前の準備に労をかけていただいたことが、受講をスムーズに満足されたゆえんだと思います。とても繊細な工程の為人数制限は止むを得ないと思いますが、もう少し受講者が多くなるような方法を工夫していただければ多くの感動が広がると感じました。</p>

委員⑦		総合評価	A	<p>様々な草木染が知られる中で、今回選択されたのが佐倉の落ち葉染め。参加者の気持ちを代弁するならば、「こんな枯葉が何色に変わるの？さくら色？」と、興味津々の様子でした。完成したのは、ピンクと黄色の2色染め。ごく身近にある材料で、世界に一つしかないマイバッグが出来上がり、全員が満足そう。鮮やかな茄子紺を作り出すために漬物に使われるミョウバンを、落ち葉の色をより鮮明にするための媒染に用いるあたりにほんの少しだけ化学実験に触れた感がありました。これなら家庭でも、子どもたちと一緒に染物を楽しめそうと思います。参加者だけで終わらない、帰宅したらきっと復習を始める、そんな予感をさせる講座でした。</p>

委員⑧		総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の落ち葉を利用して染め物を創る発想が素敵です。参加者が少ないことが残念ですが、参加者の感想から、この事業の良さが伝わってきます。 ・次の開催を検討する際には、参加者の確保の工夫が必要だと思います。 ・県内には、町が藍染を進めているところがあります。佐倉市でもこの染め物が定着することが期待されます。

委員⑨		総合評価	A	特にありません

委員⑩		総合評価	B	<p>休日開催のため、若い方の参加が多く楽しまれている様子がわかった。講師の進行も工夫があり、わかりやすかったです。参加者を多く受け入れられるよう工夫してほしいです。</p>

委員⑪		総合評価	A	<p>参加者から高い評価を得ているので今後も継続してください。 応募者ができる限り多く参加できるよう方策、例えば土日午前・午後等複数回実施を講師共検討ください。 佐倉の四季の移ろいを感じるために、桜葉の採取から染色まで移管して体験すること、又、小学生以上の子供達にも良い事業だと思います。 これら今後に向けて、より良い事業になるよう検討を願いたい。</p>

委員⑫		総合評価	A	<p>草木染め講座は体験（参加）型タイプの定番事業であるが、事業の進め方等が上手く、評価出来た。ただ、課題としては定員が少なすぎることで、問題意識の提起の観点から改良の余地があると思われる。即ち費用対効果で考えるならば、総定員は四倍を想定して欲しい。事前準備は少し負担が増えるが、一回の定員10名を午前・午後の二回、更に曜日を考慮して（一回は週末・一回はウィークデイ）もう一日実施出来ないだろうか。次に問題提起についてだが、公民館事業としては参加者に考える場を設ける事が望ましいと考える。今回の場合、事前に参加者に落葉を自由に集めて貰い、発色の具合を見させる。或いは染める布を自由に持ち込ませ、或いは麻・木綿・化繊などを事務局で用意して、染色の適・不適を考えさせる、などの仕掛けである。</p>

委員⑬		総合評価	A	<p>大変良い内容です。身の周りの草木から染色を学び、作品を仕上げることは、参加者にとっても勉強になります。 日曜日に開催したことも良かったと思います。 応募者22名の半数が受講できなかったのは残念です。 定員を増やすお考えは賛成です。</p>

委員⑭		総合評価	A	<p>身近な「桜の落ち葉」を素材に活用し、地域の自然への理解とリサイクル意識を同時に高める優れた企画である。アンケート結果からも参加者の満足度の高さが伺え、事業目的である「生活文化の振興」は十分に達成されている。 課題として挙げられている「定員拡大」については、講師の負担や染色の工程管理を考慮しつつ、ボランティアスタッフの活用や、工程を簡略化した入門編の開催など、より多くの市民が参加できる体制の構築を検討されたい。</p>

委員⑮		総合評価	A	<p>桜の落ち葉を煮出して染めるやり方にたいへん興味がありました。 素晴らしい出来具合だったと思います。ぜひ作品を見て見たかったです。 館内に展示コーナーがありましたら教えてください。 別の落ち葉での作品も期待します。</p>